

特別研究室企画展示

# 雑誌『風俗画報』で楽しむ明治期の東京めぐり



華族女学校の図(『風俗画報』  
189号/ 東陽堂 / 1899年)

『風俗画報』は明治 22 年(1889)から大正 5 年(1916)まで発行された日本のグラフィック誌のさきがけといえる雑誌で、江戸の面影や激変する明治期の記録を絵画を使って後世に残すことを目的に刊行されたものです。美しい彩色石版画やモノクロの挿絵から当時の社会をうかがい知ることができます。本展示では、特別研究室が所蔵する明治期創刊の『風俗画報』の臨時増刊『新撰東京名所図会』を中心に、明治大正期の東京をご紹介します。

## 展示概要

- 会期：2016年1月19日(火)～3月20日(日) ※休館日：2月15日(月)
- 開室時間：平日 10:00～20:00、土曜 10:00～18:00、日曜・祝日 10:00～16:00
- 会場：4階 特別研究室
- 入場無料

## 展示関連講座

古書で紐解く近現代史セミナー 第 19 回

### 「日本のグラフィック誌のさきがけ『風俗画報』誌上の江戸東京を歩く」

- 日時：2016年3月3日(木) 19:00～20:30 (開場 18:30～)
- 講師：吉田 悦志(明治大学国際日本学部教授)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 参加費：1,000円(千代田区民 500円※住所が確認できるものをお持ちください。)
- 申込方法：来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)いずれかにて①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。



『風俗画報臨時増刊第 163 号』表紙「旧大名  
婦人行列和田倉門に入るの図」(1898年)